

日本中の子どもたちが誰一人取り残されることなく “あたりまえに”食事を楽しめる社会へ！

— 子どもの貧困と食品ロス削減の2つの社会課題にアプローチし笑顔の輪を広げます —

一般社団法人サステナブルフードチェーン協議会（SFA）を中心に取り組みを進める「こどもスマイリング・プロジェクト」では、エシカル消費※を学ぶ体験型学習を通じ、企業と子ども食堂のネットワークを構築し、食を必要とする子どもたちに食を届ける仕組みづくりを行っています。SFA では、このプロジェクトを全国に拡大していき、日本中の子どもたちが誰一人取り残されることなく“あたりまえに”食事を楽しむことができる社会づくりと、食品ロス削減に貢献していきます。

2020 年にこどもスマイリング・プロジェクトを立ち上げ、大阪エリアから活動をスタートしました。今日、日本の子どもの約7人に1人が貧困状態にあると言われており、健やかな成長に必要な食事や教育・体験などの機会に恵まれない子どもたちがいます。一方、本来食べられるのに捨てられてしまう食品（食品ロス）は年間約600万トンを超えており、双方とも大きな社会問題となっています。“食を必要とする子どもたちがいる一方で、まだ食べられる食べ物を捨てている”こうした矛盾を解消するため、エシカル消費を学ぶ体験型学習を通じた関係性づくりを進めています。

昨年実施したエシカル消費※を学ぶ体験型学習では、食品企業の社員が先生役となり、クイズや店員さんごっこ、農業体験など楽しいプログラムを通じて、食品ロスの問題や生命をいただく大切さを子ども食堂に通う子どもたちに伝えました。初めての試み、手探りで0から進めたプロジェクトには不安もありましたが、授業後の「食品ロスのこと知れて楽しかった」「農業って実は面白いんや」という子どもたちの声、「あの子どもたち体験学習以来、“食品ロスなるから食べ残ししたらあかんで！”とお互い声を掛け合っているんです」という子ども食堂の職員の方の声に、確かな手応えを感じました。また、活動に賛同いただけるサポーターの方々の輪も広がり初めており、大阪のみならず、関西エリア、そして全国でも活動できるという期待を持っています。

2020年度の活動状況はこちらをご参照ください。

https://www.youtube.com/channel/UCj96novky6N1ru_QcvFdLEA

新型コロナウイルスの感染拡大が社会課題を浮き彫りさせたことによって、私たちはこれからの社会の在り方を見つめ直し、新しい“あたりまえ”を築きあげるタイミングにいます。今年で2年目を迎えるこのプロジェクトの掲げる夢が、近い未来に夢で終わることなく、「誰一人取り残すことなく子どもたちがお腹いっぱいになれる社会」「食品ロスが生まれない社会」を目指し努めて参ります。

※エシカル消費…地球や人・社会・地域に配慮した消費のこと。

■こどもスマイリング・プロジェクトの活動の詳細については HP をご覧ください

<https://www.k-smile-ring.jp/>

2020 年度 of 取組の報告書については消費者庁 HP をご覧ください。

エシカル消費と子ども支援の推進のためのこどもスマイリング・プロジェクト

https://www.caa.go.jp/policies/policy/local_cooperation/local_consumer_administration/advance_dmodel/index.html

【一般社団法人サステナブルフードチェーン協議会】

食品ロス削減を中心とする課題解決により、フードサプライチェーンの持続可能性を目指す食品産業企業と学識者を中心とする緩やかなネットワーキングの場を目指すコンソーシアム。

※エシカル消費…地球や人・社会・地域に配慮した消費のこと。

HP： <https://www.j-sfa.net/>

【問い合わせ先】

メール： info@j-sfa.net